第5学年　保健

	単元	観　　点	評　価　項　目	時数
1学期	心の発達	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	例で示された場面について，あきらさんの行動を自分なりの視点から予想しようとしている。	1
		運動や健康・安全についての思考・判断	いろいろな経験や人とのかかわりを通して，心が発達してきたことに気づくことができる。	
		健康・安全についての知識・理解	心が発達することとは，感情，社会性，思考力などのはたらきが発達することであることがわかる。	
	心と体のつながり	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	体と心が互いに影響し合っていることについて，自分の経験を対比しようとしている。	1
		運動や健康・安全についての思考・判断	例で示された場面について，自分の経験をもとに考えて，似た状況を思い起こすことができる。	
		健康・安全についての知識・理解	心と体が互いに影響し合っていることがわかる。	
	不安やなやみがあるとき	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	どんな不安や悩みが多いか，予想したりグラフで確かめたりしようとしている。	1
		運動や健康・安全についての思考・判断	例で示された不安やなやみがあるとき自分にとって効果がありそうな対処の方法について考え，その理由を説明している。	
		健康・安全についての知識・理解	不安や悩みには，自分に合ったいろいろな方法で対処できることがわかる。	
2学期	事故やけがの原因	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	学校や地域での危険な行動や場所を，自分なりに考えて見つけようとしている。	1
		運動や健康・安全についての思考・判断	事故やけがの原因について，「人の行動」と「環境」の両方から考え，表現することができる。	
		健康・安全についての知識・理解	事故やけがは「人の行動」と「環境」がかかわり合って起こることがわかる。	
	学校や地域でのけがの防止	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	学校や地域でけがをしたときのことを振り返り，事故やけがを防止するにはどうしたらよいか進んで考えようとしている。	1
		運動や健康・安全についての思考・判断	例で示された場面について，どうすればけがを防止することができたか，「人の行動」と「環境」の両方から考え，表現することができる。	
		健康・安全についての知識・理解	学校や地域でのけがを防止するには，安全に行動することや，環境を安全に整えることが必要なことがわかる。	

	交通事故の防止	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	道路標識・道路標示や，安全施設・安全設備の役割を理解し，交通事故の防止に役立てようとしている。	1
		運動や健康・安全についての思考・判断	交通事故につながる「人の行動」や「環境」とその対策について進んで考えている。	
		健康・安全についての知識・理解	交通事故の防止には，安全な行動，環境の整備，交通規制が必要であることがわかる。	
3学期	犯罪被害の防止	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	犯罪が起こりやすい危険な状況について，自分なりに考えようとしている。	1
		運動や健康・安全についての思考・判断	犯罪が起こりやすい危険な場所について理解し，安全な場所にするための環境づくりと人の行動について，本時の学習をふまえて考え，表現することができる。	
		健康・安全についての知識・理解	犯罪被害にあわずに，安全に生活するための環境と行動がどんなことかわかる。	
	自然災害によるけがの防止（発展的な学習）	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	地震によるけがを防ぐにはどうしたらよいか，進んで考えようとしている。	1
		運動や健康・安全についての思考・判断	大きな地震が起きたときには，どんな危険があり，その危険はどうすれば減らすことができるか，学習をふまえて表現することができる。	
		健康・安全についての知識・理解	自然災害によるけがを防止するためには，安全に行動することや，日ごろの備えが必要なことがわかる。	
	けがの手当	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	正しい手当の方法を自分なりにまとめ，実際にけがが起きたときに生かそうとしている。	1
		運動や健康・安全についての思考・判断	けがの程度，出血量などから，自分で手当ができるけがなのかどうか，判断することの必要性に気づくことができる。	
		健康・安全についての知識・理解	簡単なけがの手当には，傷口を清潔にする，圧迫して出血を止める，患部を冷やすなどの方法があることがわかる。	